

生誕140年
竹久夢二 展

たけひさゆめじ
竹久夢二

TAKEHISA YUMEJI:
TAISHO ROMANTICISM AND
THE NEW WORLD

ジュニア
ガイド

2024.6.1—8.25



大正浪漫と
新しい世界

出会いと旅の人生をたどる

たけひさ ゆめじ　めいじ　たいしょう　しょうわ
竹久夢二は、明治・大正・昭和
にかけて活躍した芸術家です。
絵や美術の専門的な学校に通
うことなく、独学で自分らしい
作品のスタイルを作り上げまし
た。特に夢二が描く、目や手が
大きく、色白で夢見るような表
情の女性たちは「夢二式」と呼
ばれ、多くの人々の間で話題に
なりました。さらに、絵だけにな
く詩や童謡を創作したり、本や
服、雑貨などの日用品を作ること
を通して、人々の暮らしを美
しくしていくことを目指していま
した。夢二が活動していた時代



から約100年が経ちますが、彼
の作品には今もたくさんのファ
ンがいます。夢二の人生をたど
りながら、彼が残したいろいろ
な作品を見てみましょう。

1884
岡山県で誕生
本名は茂次郎

はっとりもくさぶろう
服部 杞三郎

小学校の美術教師
夢二が生涯を通して
尊敬した

1900
中学校入学
福岡県に引っ越す

はっとりもくさぶろう
服部 杞三郎と
出会い

※表面・裏面ともに作品および画像は全て夢二郷土美術館蔵

師との出会い、 画家人生のスタート

おさな
幼いころから絵が好きだった夢二。
小学校で出会った美術の先生か
ら、絵の描き方だけでなく心のあ
り方でも影響を受けます。その後、
神戸の中学校に入学した夢二は8
か月で学校をやめて福岡に転居し
ます。期間は短かったものの、世界
に開かれた港をもつ神戸での日々
は、異国への憧れの源泉となり、そ
の後の作品にも表れています。17
歳の夏には家出をして東京に住み
はじめます。



《宝船》(やなぎや版)1920(大正9)年、木版、紙



人気の画家へ

絵を描く仕事が増えてきたころ、絵葉書店の店主であった岸たまきと出会い、結婚します。より本格的な画家になろうと考えて美術学校の先生であつた岡田三郎助の元を訪ねると、岡田からは美術学校に通うよりも独自の道を行くようにすすめられます。その後夢二は自分だけの絵のスタイルを模索していくことになります。そして次々と自分の作品を紹介する本を出版しました。



岡田三郎助

「あえて苦しい道を！」
若き夢二を導く

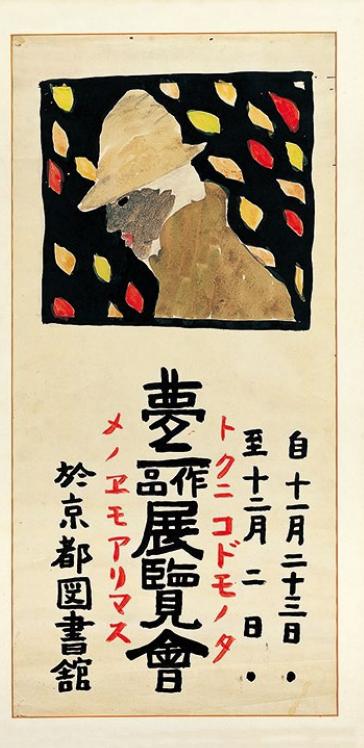
1908
長男・虹之助が生まれる

24歳
1907
岸たまきと結婚
妻
夢二との間に
3人の子を授かる
夢二が描く
女性像の原点

23歳
1909
たまきと離婚
(その後も約6年間一緒に過ごした)
初めての作品集
『夢二画集 春の巻』を刊行



京都府立図書館での個展



制作者不詳《男 第一回夢二作品展覧会ポスター》
1912(大正元)年、水彩、紙

28歳ごろには京都で初めての個展を開催し大盛況となりました。

出会いと別れ

30歳のころ、夢二がデザインした本や雑貨を販売する店が開店すると、女学生の間で人気となります。この店は恩地孝四郎などの若い芸術家たちの作品の発表の場ともなりました。この店で当時画学生であった彦乃と出会い、恋人となり、京都で次男と3人で暮らします。しかし彦乃が病に倒れ東京の病院に入院すると、夢二も東京に戻り病院にほど近い本郷の菊富士ホテルに滞在します。

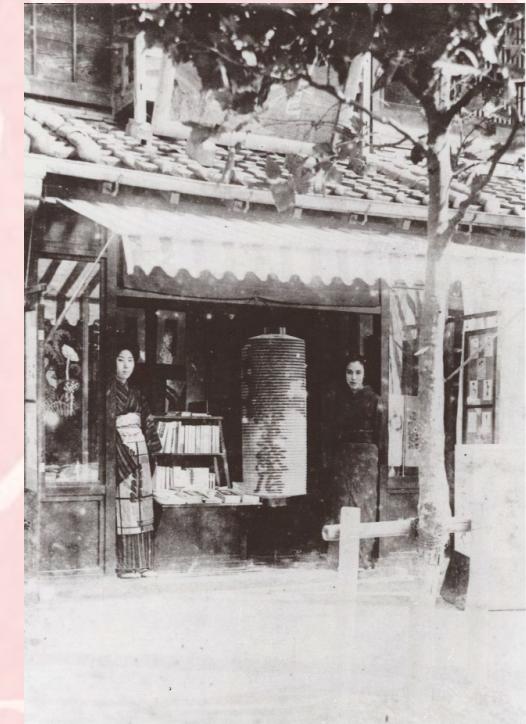


恩地孝四郎
芸術家
夢二に憧れ芸術の道へ！



彦乃
永遠の恋人

1914
にほんばし
日本橋に
「港屋絵草紙店」を開店



港屋絵草紙店(右の人物は店主のたまき)

1918
彦乃が入院
東京に戻る
34歳
36歳
ひの
彦乃
えいじゅん 永遠の恋人

1920
彦乃が亡くなる
よう
お葉
モデルとして夢二好みのふるまいを身につける

30歳
32歳
34歳
36歳
ひの
彦乃
えいじゅん 永遠の恋人

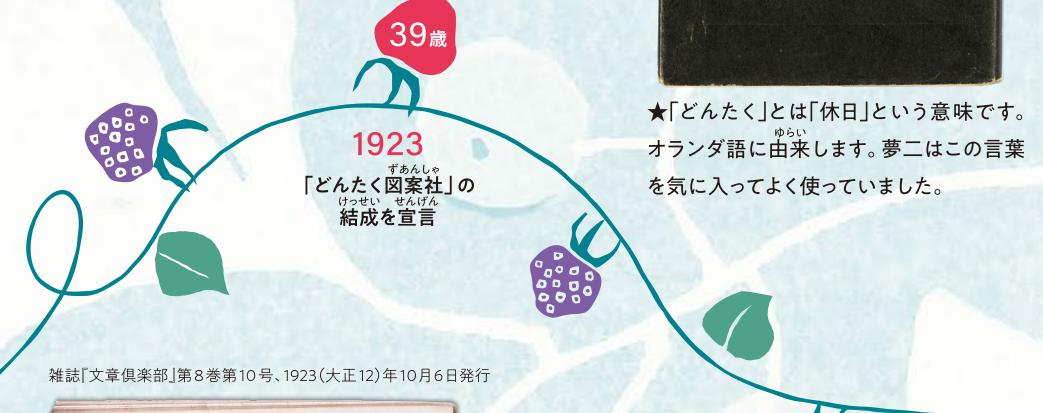
1916
三男・草一が生まれる
京都に引っ越す

1914
にほんばし
日本橋に
「港屋絵草紙店」を開店

このころ、職業モデルであるお葉を描き、油彩画《アマリリス》を完成させました。彦乃是、その後若くして亡くなります。

人々の暮らしとともに

夢二は、芸術を通して人々の生活を美しく彩ることにも熱心でした。恩地孝四郎とともに取り組んだ、商業デザイン(ポスターや広告など)に芸術性を取り入れる「どんたく図案社」もその実現のための活動の一つでした。しかし、関東大震災の発生により図案社の設立は取りやめとなります。夢二是自らも被災しながら人々の様子をスケッチして歩き、新聞などを通じて震災のひどい状況を伝えました。



『どんたく』1913(大正2)年初版

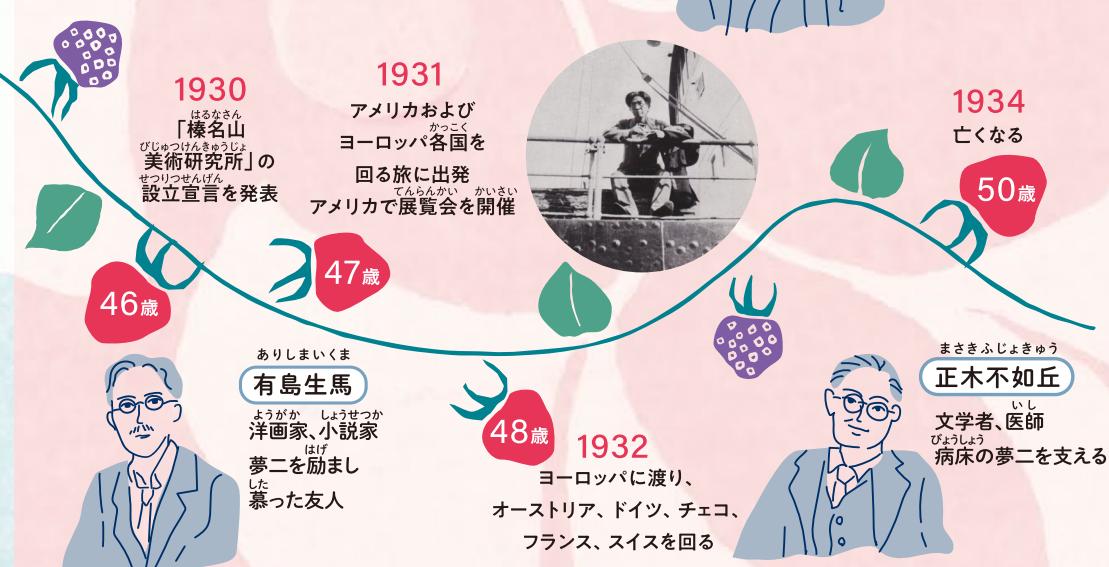


夢見た海外へ！

夢二は、群馬県の榛名湖の湖畔にアトリエを構えます。藤島武二・有島生馬や仲間たちの支援を受けて、生活と美術を結びつけることを目指す「榛名山美術研究所」の設立を宣言します。設立にあたり海外を見物するため、夢二は1931年から約二年間、アメリカ・ヨーロッパをめぐる旅へと出かけます。期待に胸をふくらませて旅立った夢二は、各地で個展を開催しながら滞在費を稼ごうとしましたが、不況もありうまくいきませんでした。落ち込みながら帰国した夢二は病に倒れ、長野県の療養所に入院します。友人で医師の正木不如丘の手厚い看護を受けながらも、最期に「ありがとう」と言って亡くなりました。



藤島武二
夢二が尊敬した画家
「二」の字はこの人から



じっくり見てみよう！夢二が ゆめじ 追い求めた世界

生涯で様々な作品を残した夢二。

「女性」「風景」「デザイン」のテーマごとに、
かれ
彼の大切にしていた世界を見てみましょう！

素敵な

女性

『アマリリス』という題名の絵には、着物を着た女性と大きなアマリリスの鉢植えが描かれています。この女性はモデルとして働いていた「お葉」さん。顔や髪を飾るように描かれた花が、お葉さんの存在を引き立たせているようです。流れるような柔らかいボーッズは、夢二の描く女性たちの特徴です。

鉢植えのほかに、テーブルにはカップが置かれ、手には本を持っています。

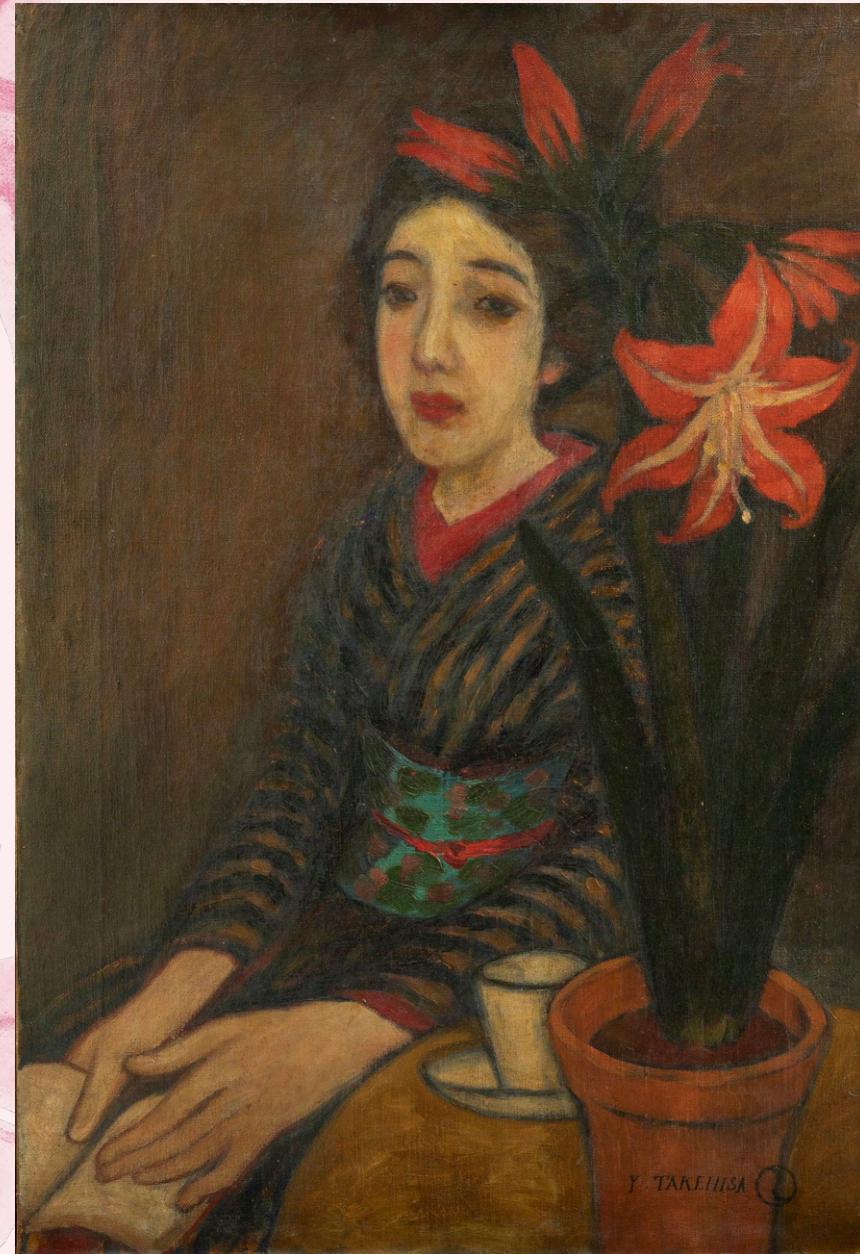
あなたが人を描くとしたら、
だれを、どんな風に
描いてみたいですか？



着物は赤と緑の縞模様。
帯は花のような柄に見えます。

当時の人々はどんな格好をしていたのでしょうか。
ほかの作品に描かれている人物の服装も見てみましょう。

どんな
気持ちだろう?
お葉さん
の表情に注目。
こちらを見つめる



《アマリリス》1919(大正8)年頃、油彩、キャンバス

懐かしい

風景

旅の中で出会ったたくさんの風景を作品の中にも取り込んだ夢二。彼の心には、生涯を通じて故郷・岡山の風景がありました。子供を意味する『童子』という作品を見てみましょう。赤い花をつけた椿の木の周りを、子供たちが手を繋いで囲んでいます。椿は夢二のお母さんの実家にあったものと言われています。姉と妹とともに育った夢二は、自分の子供時代を思いながらこの絵を描いたのでしょうか？

子供たちは遊びながら会話をしているように見えます。

どんなことを話しているのでしょうか？

ほかの作品に描かれている風景にも注目してみましょう。



あなたが懐かしいと感じる風景はどんな風景？
そこには何がありますか？



《童子》大正初期、絹本着色

半襟は着物の下着につける襟。
見えないとこもお洒落に！



半襟「馬蹄」大正前期、描絵、絹

千代紙は折って遊ぶだけでなく、小物を飾ったり、贈り物を包んだり、いろいろなことに使われました。



千代紙「きのこ」(みなどや版) 大正前期、木版、紙
千代紙「蔓草」(みなどや版) 大正前期、木版、紙

生活の

デザイ

当時お店で売られていたものがほかにもたくさん展示されています。
あなたが買うとしたらどれにしますか？

夢二は絵画だけでなく、日用品のデザインにも力を注ぎました。彼のデザインした商品は当時の女性たちに大人気でした。植物などの身近で素朴なものを、カラフルでお洒落なデザインに仕上げています。



封筒
「どくだみ」

「菜の花」
「風景」
大正期、木版、紙



手紙などを入れた封筒。
いろいろな柄があります。

生誕140年

YUMEJI展 | 大正浪漫と新しい世界

Takehisa Yumeji: Taisho Romanticism and the New World



会期

2024年6月1日(土)～8月25日(日)

開館時間

10:00～18:00 (入館は閉館の30分前まで)

休館日

毎週月曜日

※ただし7月15日(月・祝)、8月12日(月・祝)は開館、
7月16日(火)、8月13日(火)は休館

会場

東京都庭園美術館

観覧料

一般=1,400(1,120)円

大学生(専修・各種専門学校含む)=1,120(890)円

中・高校生=700(560)円

65歳以上=700(560)円

※()内は団体料金。団体は20名以上(事前申請が必要)

※ 小学生以下および都内在住の中学生は無料です。

※ 教育活動として教師が引率する都内の小・中・高校生および教師は事前申請により無料となります。

※ 身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料

※ 第3水曜日(シルバーデー)は65歳以上の方は無料

展覧会ウェブサイト https://www.teien-art-museum.ne.jp/exhibition/240601-0825_yumeji/

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、産経新聞社

監修 | 岡部昌幸(帝京大学名誉教授・群馬県立近代美術館特別館長)

特別協力 | 公益財団法人両備文化振興財団 夢二郷土美術館 協力 | 竹久夢二学会 協賛 | JR東日本

年間協賛 | 戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P. Bloomberg Van Cleef & Arpels

東京都庭園美術館

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM

〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9

050-5541-8600(ハローダイヤル)

「生誕140年 YUMEJI展 大正浪漫と新しい世界」ジュニアガイド

編集・発行 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

デザイン | 栗谷川舞(スタビーデザイン)

印刷 | 三永印刷株式会社